

クラブ活動で支えよう!

令和元年度 みずほ教育福祉財団助成 「地域支え合い応援事業」報告

住民をはじめ地域で支え合う取り組みが広がる中、老人クラブでは「多様な生活支援」「多様な通いの場づくり」「見守り支援」「健康づくり支援」「情報伝達支援」を柱に、「老人クラブがめざす友愛活動」として「地域支え合い」につながる取り組みの推進を呼びかけています。

こうした中、昨年、みずほ教育福祉財団による「地域支え合い応援事業」が始まりました。内容は、

初めて地域支え合いに取り組むクラブや連合会を応援しようというもので、リーダーや会員向けの研修を市区町村老連が行い、地域の関係者や仲間の実践報告を聞いて、活動の理解を深めました。令和元年度は25市区町村老連(別掲)が取り組み、本号ではその一部を紹介します。

※今号「表紙」「北から南から」の事例もみずほ教育福祉財団助成事業です。

スーパーの 空き地で 通いの場 づくり

●青森県八戸市是川地区老人クラブ連合会

毎週金～日曜日の三日間、スーパーの空き地にテントを張って「ふれあい広場」を開催しました。毎週金曜日には地域の特別養護老人ホーム等に協力してもらい「健康と福祉の相談コーナー」を設けました。雪が降り、気温が零下になる冬期間も要望が多かったため、空き店舗を借りて開催しました。

当地は一人暮らしの高齢者が多く、過疎化がすすみ広い地域に点在して住んでいるので日頃から交流の機会が少なく、近所に住んでいながら、何十年ぶりに顔を合わせることができたと喜ぶ人もいました。また、「こうした取り組みは地区始まって以来だ」と、自作の甘酒・果物・おにぎり等の差し入れをしてくれる方も何人かありました。令和2年度は手芸の集まりも開催したいと考えています。



大好評の健康福祉相談コーナー(青森県八戸市)

老人クラブ だからできる 見守り支援

●和歌山県有田市港地区老人クラブ

地図に書き込まれた一人暮らしの方は191人。そこから話し合って対象者を76人に絞り、半年かけて毎月訪問する人を29人とし、それ以外は年に数回、変化がないか近所の情報に気をつけることにしました。一方で、「同居しているから

安心ではない。自分たちだからわかる事情がある。必要があれば訪問先を追加しよう」という提案も取り入れ、活動に取り組みました。月2回の訪問時には、「健康(顔色、食欲)」「買い物・運動」「生活(整理整頓、ゴミ出し)」「心配ごと(物忘れ、人づき合い)」を確認して、地区会長へ報告することにしました。訪問時には、高齢者が使える制度やサロンの開催についての情報を提供しました。



そろいの訪問バッグで活動PR(和歌山県有田市)

健康づくりと 情報交換

●佐賀県玄海町老人クラブ連合会

町老連の体操のサポーター養成講座を受け、二つのクラブが週1回「いきいき百歳体操」に取り組みました。1回の参加者は十数名。体操前後の交流会では、近況などを話しながら情報交換を行っています。週一回の体操を楽しみにしている90歳と88歳の兄弟や、脳梗塞の後遺症を抱えた夫と一緒に参加しているご夫婦。他にも「家にいるときはテレビが友達で声を出すことも少ないが、ここでは大きな声で話ができ楽しい」「歩きぶりが良くなったと近所の方から言われた」と多くの人に喜ばれています。今年度は、新規参加者の呼びかけとともに、未実施クラブの取り組みに向けて情報発信を行っていく予定です。



みんなで体操(佐賀県玄海町)

▶みずほ教育福祉財団とは

旧第一勧業銀行を母体とする社会福祉と教育を中心とした助成団体です。老人クラブ活動に対して、昭和59年から継続して助成をいただいています。全国に普及している「高齢者の体力測定」や「健康ウォーキング」は、助成事業を通じて広がりました。

■令和元年度実施市区町村老連一覧(25老連)

青森県	弘前市、八戸市、平内町、階上町
山形県	上山市、大石田町
秋田県	潟上市
福島県	泉崎村
栃木県	栃木市
東京都	調布市
三重県	鳥羽市
大阪府	東大阪市
兵庫県	三木市、神河町
奈良県	平群町
和歌山県	有田市
岡山県	総社市
岡山市	東区
広島県	安芸高田市
山口県	萩市
徳島県	神山町
香川県	坂出市
佐賀県	玄海町
大分県	臼杵市
宮崎県	宮崎市